

## 社会資本整備審議会 道路分科会

### 令和6年度 第1回中部地方小委員会

1. 日 時 令和7年3月11日（火）14:00 ～ 16:00

2. 場 所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室

#### 3. 出席者委員

○加藤 義人 岐阜大学工学部 客員教授

◎倉内 文孝 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授

佐藤 久美 名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授

鈴木 弘司 名古屋工業大学社会工学教育類環境都市分野 教授

中村 一樹 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授

松尾 奈緒子 三重大学大学院生物資源学研究科 准教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長、○は副委員長

#### 4. 議 事

##### （1）計画段階評価

- ・ 一宮西港道路 第3回計画段階評価

##### （2）令和7年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

- ・ 事業評価のあり方について
- ・ 一般国道22号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）

### < 計画段階評価 一宮西港道路 >

- 名古屋港を含む地域全体の速達性に優れ、意見聴取の結果においても、政策目標を達成し、海部地域全体の持続可能な地方形成が最も期待できる中央ルートが妥当である。
- 対応方針（案）について了承する。
- 今後、検討の熟度を高めていくにあたり、本道路の効果をより高めるような一体的に機能する周辺道路整備や周辺開発のほか、災害時にも機能するアクセス道路整備や本道路が避難場所として機能するような運用、環境への影響についても配慮して進めて頂きたい。

## ＜ 令和 7 年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

### 一般国道 22 号 名岐道路（一宮～一宮木曾川）＞

- 名岐道路（一宮～一宮木曾川）の事業化については妥当である。
- 名岐道路（一宮～一宮木曾川）は、名古屋と岐阜地域を最短で結び、なおかつ、時間信頼性が非常に高くなるネットワークが構築され、渋滞緩和にも非常に期待できる。
- 航空宇宙産業等の地域経済の発展や観光地へのアクセス向上といった大きな効果が期待できる。
- 名岐道路と愛知県道高速清須一宮線の連続利用が見込まれることから、交通利用に関わるネットワークの連続性の観点から、一体評価区間（清洲 JCT～岐南 IC）の設定については妥当である。
- 当該地域は、渋滞により所要時間のばらつきが発生していることから、本道路にとって時間信頼性について評価することは重要である。

